

MOBOTIX JAPAN

2021年4月26日

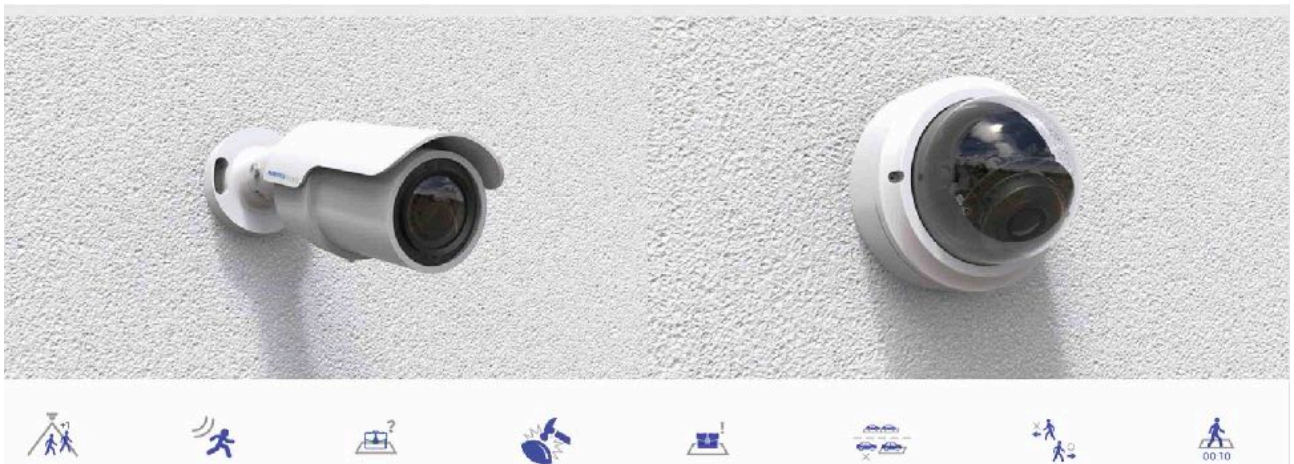
製品情報

MOBOTIX JAPAN
株式会社K.J.フェロー

231-0011
横浜市中区太田町6-85
RK Cube 4F
www.mobotix-japan.net
www.kjfellow.com

2021年4月

1. **MOBOTIX MOVE 画像解析付2メガピクセル/5メガピクセルカメラ**
ブレットとフィックスドーム
2. **MOBOTIX MOVEアップデート (カメラファームウェア、MOVE NVRとApp)**



3. **MOBOTIX 7 M73/S74用ファームウェアアップデート**
4. **MOBOTIX 7 M73/S74用新アプリ**
5. **Visage Technologies 顔認証アプリアップデート**
6. **ManagementCenter 2.4.3 サービスリリース**

1. MOBOTIX MOVE 画像解析付2メガピクセル/5メガピクセルカメラ ブレットとフィクストーム

MOBOTIX MOVEカメラファミリーは継続して拡大

技術的に非常に幅広いMOBOTIXカメラポートフォリオを使用すると、すべてのビデオプロジェクトに理想的に装備でき、ほとんどの場合、ワンストップで完全なMOBOTIXソリューションを使用できます。最新で今すぐ注文可能な、文字通りすべてを備えた4つの新しいMOVEカメラを提供します。2メガピクセルまたは5メガピクセルの解像度、遠隔ズーム付きのバリフォーカル

レンズ、4メガピクセルカメラのオプションとしてすでに知られている、堅牢なIK10カメラハウジングで利用できるこれらのカメラは、幅広い統合画像解析機能も提供します。そして、これは完全に追加ライセンス費用なしで提供されます！



MOBOTIX MOVEカメラ一覧



VB-5-IR-VA



VB-2-IR-VA



VD-2-IR-VA



VD-5-IR-VA

新発売MOVEカメラ
統合画像解析付



VB-4-IR



VB-4-IR-D



VD-2-IR



VD-4-IR



VD-4-IR-D

既存のMOVEカメラ
統合画像解析無



BC-2-IR



BC-4-IR



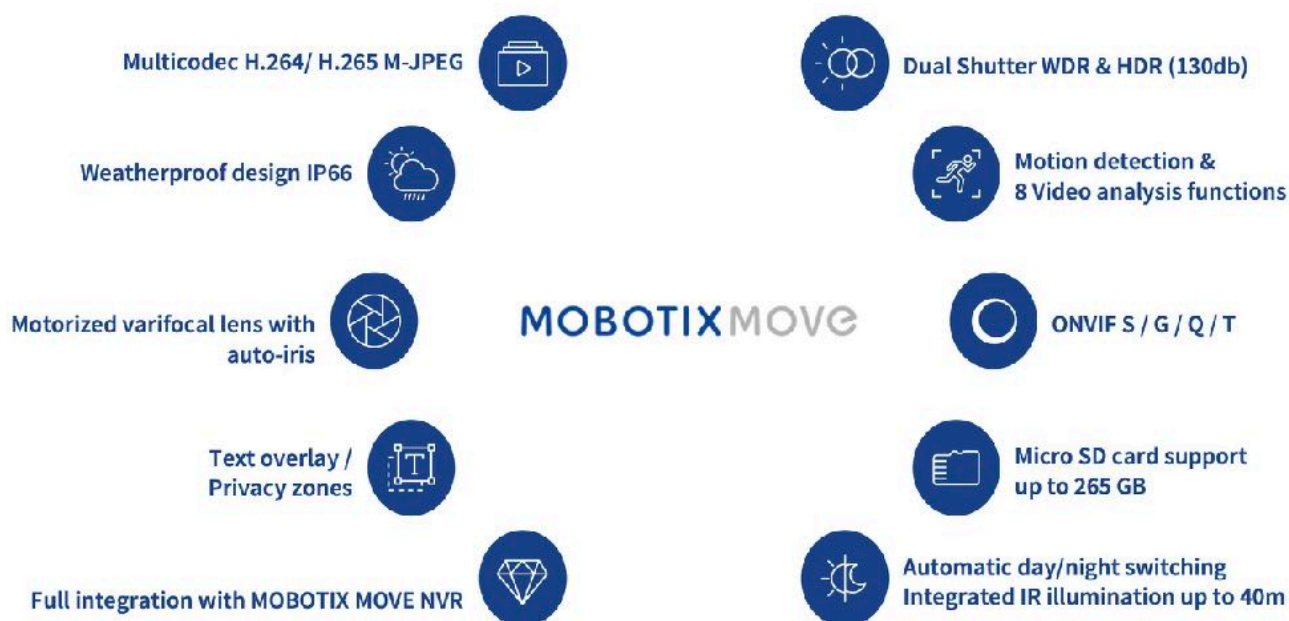
BC-4-IR-D



SD-330



SD-340-IR



ビデオ解析が統合された新しいMOBOTIX MOVEカメラの最も重要な利点:

- ・ 8つのインストール済みビデオ解析機能(追加のライセンス費用無し、2つの機能を同時に有効化)
- ・ リニアモード(WDR無し)で最大60fps、WDRモードで最大30fpsの高フレームレート
- ・ 最大40m以上の範囲の統合赤外線投光器850nm (シーンによって異なります)
- ・ 特に速いオブジェクトをキャプチャーするためのシャッタースピードの向上:
 - ・ 最大1/17,550秒のWDRモード
 - ・ 最大1/37,440秒のリニアモード
- ・ 光感度の向上: カラー0.08ルクス、白黒0.008ルクス/0.0ルクス(赤外線投光器使用時)
- ・ 標準の内蔵ヒーターにより、動作温度範囲が -55°C ~ +60°Cに拡大
- ・ 4つの個別に設定可能なビデオストリーム
- ・ ワンプッシュオートフォーカス付き電動バリフォーカルレンズ (F1.6、2.7~12mm)
- ・ 画角: 水平102.1°~31.5°、垂直70.3°~22.7°
- ・ 双方向オーディオライン入力および出力統合
- ・ PoEまたは電源ユニット (12V DCまたは24V AC)での電源供給



オブジェクトカウント



侵入



置き引き



カメラ妨害



置き去り



違反駐停車



誤方向



滞留

8つの統合ビデオ解析ツールを備えたMOBOTIX MOVEカメラ

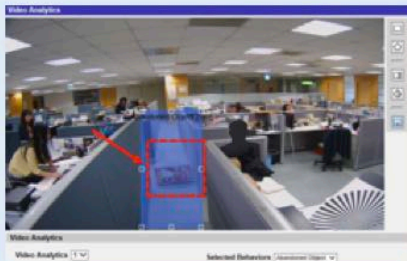
これらの新しいMOBOTIX MOVEカメラにより、インテリジェントなビデオ解析のための高度な画像処理アルゴリズムが、カメラファームウェアを介して初めて直接利用できるようになりました。現在8つの異なるアプリケーション機能で構成されているビデオ解析パッケージは追加ライセンス費用なしで、MOBOTIX MOVEカメラでさまざまなアプリケーション分野で、さらに効率的に使用できます。

以下の点に注意してください

- ・ビデオ解析ツールは、2メガピクセルおよび5メガピクセルの新しいMOBOTIX MOVE Analyticsカメラでのみ使用できます。
- ・カメラごとに最大2つのビデオ解析ツールを同時に有効化できます。
- ・現在販売されているすべてのMOBOTIX MOVE NVRのMOVEビデオ管理ソフトウェアは、これらの新しいカメラと解析ツールもサポートしています。

注意: これらのビデオ解析機能は、「混雑していないエリア」に適しています。これらは、主に移動する人があまり多くなく、監視対象領域の景色がオブジェクトによって隠されたり影響を受けない場面を前提としたアプリケーションシナリオです。アルゴリズムの品質、つまり検出精度と誤警報率は、カメラの設置位置とパラメーターに大きく依存します。

置き去り



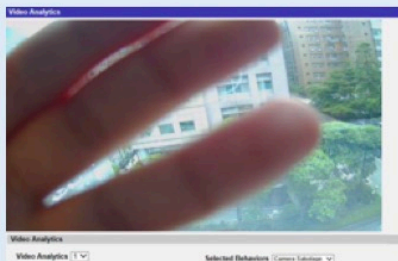
ユーザーが定義したゾーンに置かれて放置されたオブジェクトを検出し、アラームをトリガーします。混雑していない場所での屋内と屋外の両方の使用に適しています。動作は、雪、霧、風、雨などの監視環境の変化に徐々に適応することに注意してください。

侵入検知



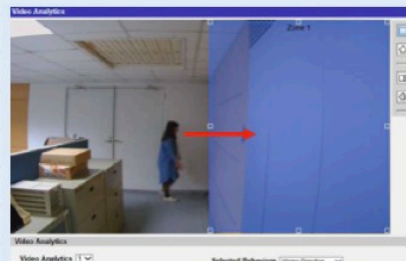
アラームをトリガーするためのシーンのユーザー定義ゾーンに入るオブジェクトを検出して追跡します。屋内と屋外の両方で、空いている場所に移動する複数のオブジェクトを追跡するのに適しています。動作は、雪、霧、風、雨などの監視環境の変化に徐々に適応することに注意してください。

カメラ妨害



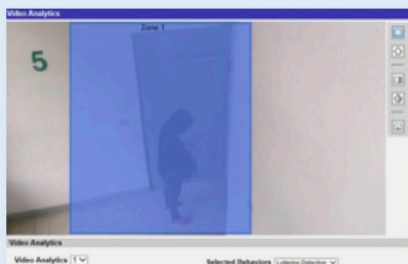
カメラのレンズがスプレーペイント、布、またはレンズカバーで覆われている場合、視野内のコントラストの変化を検出し、アラームをトリガーします。さらに、カメラの不正な再ポジショニングもアラームをトリガーします。

誤方向



通行量の多いエリアで、人や物が特定の方向に移動するとアラームを生成します。この動作の理想的なアプリケーションには、空港、入口/出口、およびフェンスが含まれます。

滞留



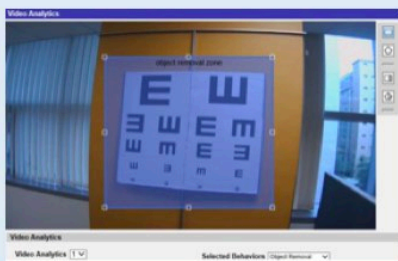
ユーザーが定義したゾーンに、定義した時間より長く留まり、移動しない人または車両を識別します。カメラは、ATM、階段の吹き抜け、学校の敷地内での疑わしい行動をリアルタイムで通知します。

オブジェクトカウント



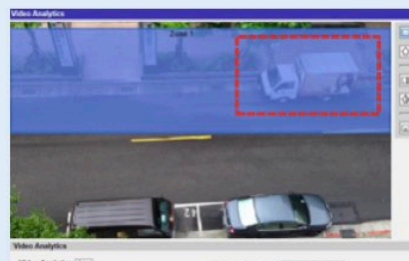
ユーザーが定義したゾーンに入るオブジェクトの数をカウントします。この動作は、オフィスの入口/出口にいる人を数えるために使用できます。一方、高速道路、一般道/ストリート、駐車場、ガレージでの車両交通の監視にも適しています。

置き引き



監視対象オブジェクトがユーザーが定義したゾーンから移動すると、アラームをトリガーします。監視対象の理想的なサイズは、壁の絵や台座の彫像など、ROI(対象領域)の大部分を占めることです。

違反駐停車



指定されたエリア(駐車禁止区域など)の近くで停止した車両を検出し、車両がユーザーが定義した時間より長くそのエリアに留まっている場合にアラームをトリガーします。この動作は、駐車取締り、不審な駐車検出、車線の破損の検出、および障害物で待機している車両の検出に最適です。

MOBOTIX MOVE カメラとNVRアクセサリ

製品名 製品番号	詳細	受注開始
MOBOTIX MOVE Mx-VD2A-2-IR-VA	MOBOTIX MOVE バンダルドームネットワークカメラ VD-2-IR-VA(ビデオ解析)・耐候性 ・ONVIF S/G/T・デイナイト運用用赤外線LED統合ドームカメラ(最大40 m)・最大解像度: 2MP (1920 x 1080)、1/2.7インチプログレッシブCMOS・カラーから白黒へ自動切替(機械式赤外線カットフィルター)・遠隔ズーム・モーター制御バリフォーカルレンズ (F1.6: 2.7~12 mm、画角 水平:102.1°~31.5°、垂直:70.3°~22.7°) 照度環境に合わせて自動調整・3軸レンズ調整・IP66、K10・環境温度: -55°C ~+60°C,(ヒーターON) 湿度 10%~90% 結露なきこと・ビデオコーデック: H.264、H.265、MJPEG(最大同時4ストリーム)・True WDR (130 dB)・最大フレームレート: 2MP H.264、H.265 30 fps WDRオン、60 fps WDRオフ; MJPEG: 最大1080p @ 30 fps・電源供給: PoE IEEE 802.3af または DC 12V(13W)またはAC 24V: 最大14 W・保証期間: 2年	受注可能
MOBOTIX MOVE Mx-VD1A-5-IR-VA	MOBOTIX MOVEバンダルドームネットワークカメラ VD-5-IR-VA(ビデオ解析)・最大解像度: 5MP (2720 x 1976) - その他2MP同様	受注可能
MOBOTIX MOVE Mx-VB2A-2-IR-VA	MOBOTIX MOVEバンダルトレットネットワークカメラ VB-2-IR-VA(ビデオ解析)・耐候性 ・ONVIF S/G/T・デイナイト運用用赤外線LED統合ブレットカメラ(最大40 m)・最大解像度: 2MP (1920 x 1080)、1/2.7インチプログレッシブCMOS・カラーから白黒へ自動切替(機械式赤外線カットフィルター)・遠隔ズーム・モーター制御バリフォーカルレンズ (F1.6: 2.7~12 mm、画角 水平:102.1°~31.5°、垂直:70.3°~22.7°) 照度環境に合わせて自動調整・3軸レンズ調整・IP66、K10・環境温度 -55°C ~ +60°C,(ヒーターON) 湿度 10%~90% 結露なきこと・ビデオコーデック: H.264、H.265、MJPEG(最大同時4ストリーム)・True WDR (130 dB)・最大フレームレート: 2MP H.264、H.265 30 fps WDRオン、60 fps WDRオフ: MJPEG: 最大1080p @ 30 fps・電源供給: PoE IEEE 802.3af または DC 12V(13W)またはAC 24V; 最大14 W・保証期間: 2年	受注可能
MOBOTIX MOVE Mx-VB1A-5-IR-VA	MOBOTIX MOVEバンダルトレットネットワークカメラ VD-5-IR-VA(ビデオ解析)・最大解像度: 5MP (2720 x 1976) - その他2MP同様	受注可能
MOVE NVR 8チャンネル用 19インチラックマウントブラケット Mx-M-NVR8-RM	2x メタルマウントブラケット MOBOTIX MOVE NVR 8チャンネル用 19インチラック設置用	受注可能
MOVE NVR 16チャンネル用 19インチラックマウントブラケット Mx-M-NVR16-RM	2x メタルマウントブラケット MOBOTIX MOVE NVR 16チャンネル用 19インチラック設置用	受注可能

カメラマウント/アクセサリ型番	詳細
Mx-M-VD-W	ウォールマウント、MOBOTIX MOVEバンダルドーム用
Mx-M-VD-P	ポールマウント、MOBOTIX MOVEバンダルドーム用
MX-M-VD-C	コーナーマウント、MOBOTIX MOVEバンダルドーム用
MX-M-VD-IC	天井マウント設置キット、MOBOTIX MOVEバンダルドーム用
MX-A-VD-DCS	色付き取り替え用ドーム、MOBOTIX MOVEバンダルドーム用
MX-A-VD DCT	透明取り替え用ドーム、MOBOTIX MOVEバンダルドーム用
MX-M-BC-P	ポールマウント、MOBOTIX MOVEバンダルトレット用
MX-M-BC-W	ウォールマウント、MOBOTIX MOVEバンダルトレット用

2. MOBOTIX MOVEアップデート (カメラファームウェア、MOVE NVRとApp)

全てのMOBOTIX MOVE 2メガピクセル/4メガピクセルとスピードドームカメラ用新カメラファームウェア、MOVE NVR とAppのアップデート

- ・MOBOTIX MOVEカメラモデル BC-2-IR, VD-2-IR用ソフトウェアリリース*
mb20201120NSQ
- ・MOBOTIX MOVEカメラモデルBC-4-IR(-D), VB-4-IR(-D), VD-4-IR(-D)用ソフトウェアリリース*
mb20201123RP
- ・MOBOTIX MOVEカメラモデルSD-330, SD-340-IR用ソフトウェアリリース*
mb20201123RS
- ・MOBOTIX MOVE NVR-8/16用ソフトウェアリリース
dl0eL000-20201125

*すでにMOBOTIX JAPANサイトでダウンロード可能です。

新MOVE NVRの技術的なマイナーチェンジ

シリアル番号RD20C00001(8CHバージョン)またはシリアル番号RD20C00201(16 CHバージョン)の時点でMOBOTIXに注文されたすべてのMOVE NVRユニットの特徴

- ・注文可能な新しい取り付けブラケット(Mx-M-NVR8-RMおよびMx-M-NVR16-RM)を使用して、NVRを19インチの標準ラックに取り付けることができるように側面にねじ穴有
- ・NVRの背面にある追加の4つの信号入力と4つのスイッチング出力を使用 (たとえば、外部の部屋のセンサー、アラームの場合のライトリレーの切り替えなど)

MOBOTIX MOVE NVRとApp

iOSおよびAndroid用の無料のMOVE NVRモバイルアプリのアップデートにも注意してください。MOBOTIX MOVE NVRとカメラへの接続は、追加のWLAN接続を介してローカルで確立されます。



3. MOBOTIX 7 M73/S74用ファームウェアアップデート

最大限のフレキシビリティを備えた最先端のテクノロジー: MOBOTIX 7: 屋外-屋内-サーマル

新しいフレキシブルなS74とコンパクトなM73がラインナップされている、MOBOTIXのサイバーセキュアなIoTシステムプラットフォームであるMOBOTIX 7は、汎用性と多様性において究極です。A.I.(人工知能)とディープラーニングをベースとして開発された認定アプリは、現在の多くの業界の要件を網羅しています。さらに、MOBOTIXのパートナーとお客様は、独自のカスタムアプリを創り出せます。このソフトウェアは、セキュリティアプリケーションを遥かに超えて、監視カメラの新しいアプリケーション分野を切り開き

4. MOBOTIX 7 M73/S74用新アプリ

Vaxtor VaxOCRコンテナコード認識アプリ

製品番号: Mx-APP-VX-CON

MOBOTIXは、Vaxtor VaxOCRコンテナコード認識アプリを使用して、MOBOTIX 7カメラシリーズ向けの費用対効果が高くパワフルなソリューションを提供します。それにより、標準化されたコンテナコードを自動的にキャプチャーし、個々のコンポーネントを検索することができます。このソリューションは、主に輸送、ロジスティクス、法執行機関の分野での使用が推奨されています。典型的なユーザーとしては、例えば、港湾、空港、鉄道輸送事業者（公的および私的）、荷役エリアの事業者、コンテナ倉庫を有する企業または政府機関（例えば、税関、国境警備局、交通監視）です。アプリはコンテナコードのキャプチャーにのみ使用できることに注意してください。2つの光学センサーモジュールを備えたS74と組み合わせて、両方のアプリアプリケーションを1台のカメラで同時に実行できます。

Vaxtor VaxOCRコンテナコード認識アプリの特徴:

- ・ライセンスを対象として、使用期間無制限で1回限りの支払い
- ・ISO 6346に準拠した貨物コンテナコードの認識
- ・認識精度 99%以上
- ・MxMessageを介したMOBOTIXイベント
- ・個々のアクション（アクセス許可、アラームトリガーなど）のコンテナコードが保存された2つのリスト
- ・通常900ms/コンテナの認識時間（コンテナコードの認識速度に関するプロジェクト要件を考慮する必要があります）
- ・コンテナまたはカメラが最大20km/hの速度で移動している場合でも、コンテナコードを検出できます。
- ・MxManagementCenterバージョン2.4.3以降でデータ検索用のアプリ統合スマートデータ・インターフェイス(たとえば、複数のカメラ間でも特定のコンテナコードを検索するため)

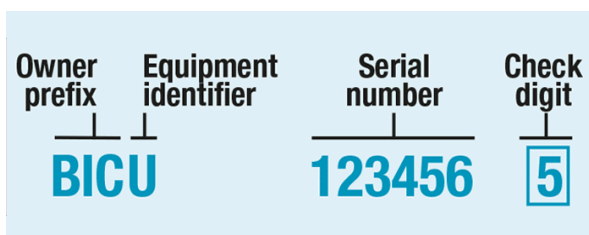


ISO 6346によるカーゴコンテナコード認識

BIC(Bureau International des Containers、bic-code.org)によって整備されている標準規格。下記の情報は、その標準によって定義されています。

- ・コンテナシリアルナンバー / コンテナコード
- ・オーナー
- ・タイプ
- ・サイズ

```
"VaxOCRContainer" :
{
  "container" :
  {
    "Confidence" : "92",
    "ContainerCode" : "ALLU910879745G1",
    "ControlDigit" : "7",
    "List" : "White list",
    "Owner" : "ALMAR CONTAINER INVESTMENTS INC.",
    "OwnerBase" : "DURBAN, South Africa",
    "OwnerCode" : "ALLU",
    "Size" : "40 feet X 8 feet 6 inches - High Cube -",
    "Time" : "2021-02-15T10:38:49.191+01:00",
    "Type" : "HIGH CUBE CONTAINER"
  },
  "custom" :
  {
    "ConfidenceCode" : "2"
  }
}
```

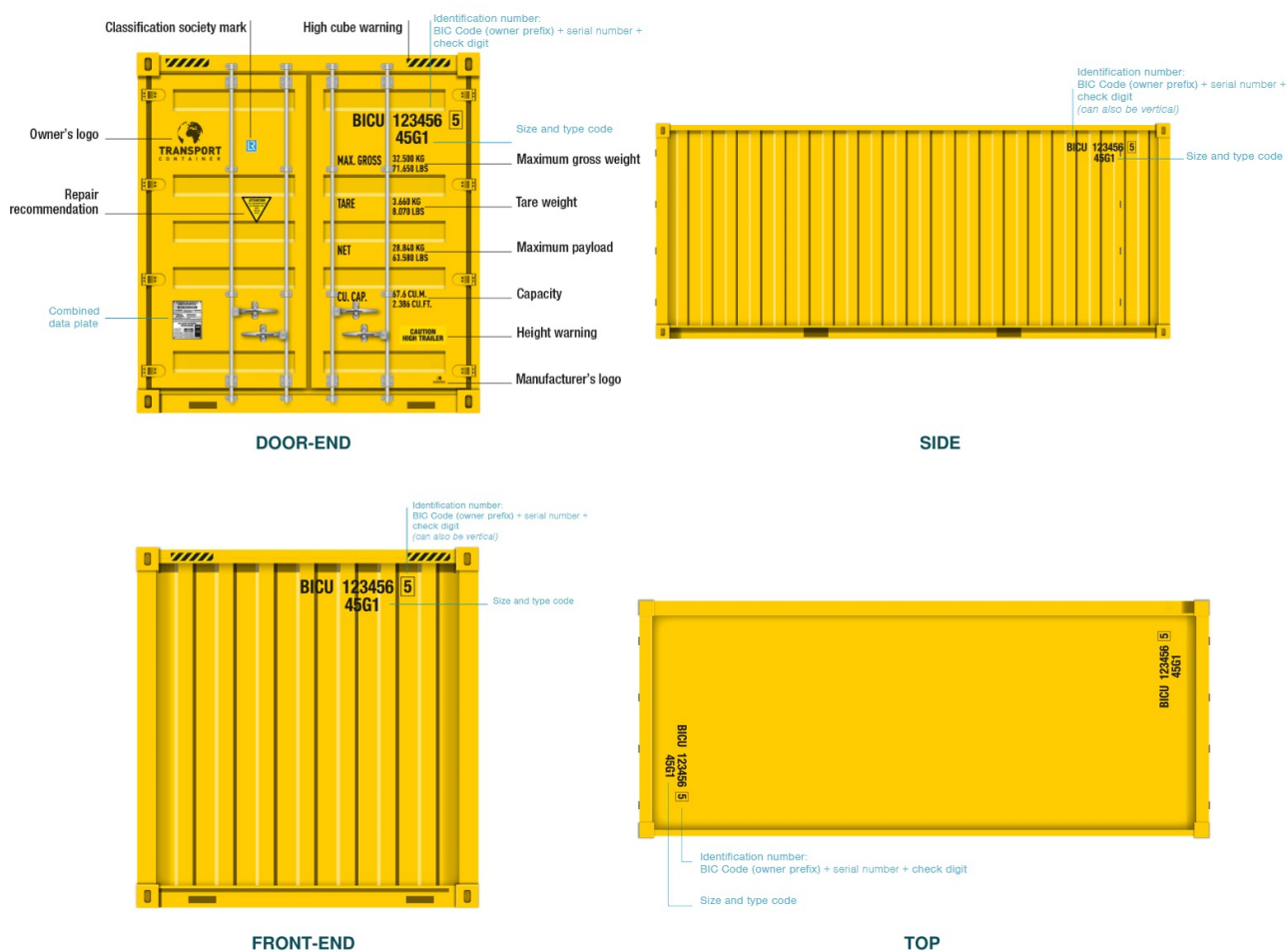


ISO6346に準拠したコンテナコードの構造の例出典：

<https://www.bic-code.org>



コードの位置



コンテナコードは、コンテナのほぼすべての側面でキャプチャーできます。

出典：<https://www.bic-code.org>

顧客の利益

プロセスの自動化

- ・ 港、空港、その他のコンテナターミナルの自動アクセスコントロール
- ・ 入口と出口での輸送車両の待ち時間の短縮
- ・ 人件費の削減
- ・ 出荷および移動された荷物の記録

プロセスドキュメント

- ・ コンテナのルートと操作のトレーサビリティを改善する
- ・ コンテナが損傷した場合の責任問題の自動証明（コンテナの状態の記録）

コンテナ追跡

- ・独自のコンテナルートの特長・トレーサビリティの向上
- ・輸送ルート・保管場所の滞留時間/処理時間のドキュメント化に関する改善
- ・倉庫管理

国境警備隊

- ・国境を越えたコンテナルートの特長・トレーサビリティの向上
- ・輸送されたコンテナの管理/検索のためのプロセス最適化
- ・国境地域での輸送車両の待ち時間の短縮/渋滞の回避



アプリケーションの領域とMOBOTIXの優位性

MOBOTIXカメラアプリケーション - 汎用およびコンセプトの利点

- ・ゲート自動化システム（オンボードI/Oによるゲートの制御）
- ・入出庫コンテナ輸送の記録/ドキュメント化/追跡
- ・コンテナの自動検査、識別、在庫管理
- ・回収時のコンテナ状態のドキュメント化（保険会社の責任問題）
- ・通常、ポータルごとに4~6台のカメラ→デュアルレンズでの検出が可能なS74を使用してコスト削減
- ・モジュラー型カメラのコンセプトにより、あらゆる気象条件で24時間年中無休のカメラ操作が保証されます
- ・モジュラー型MOBOTIXレンズの種類により、より大きな角度でより近いビューが可能→コード認識のためのより大きな画像領域

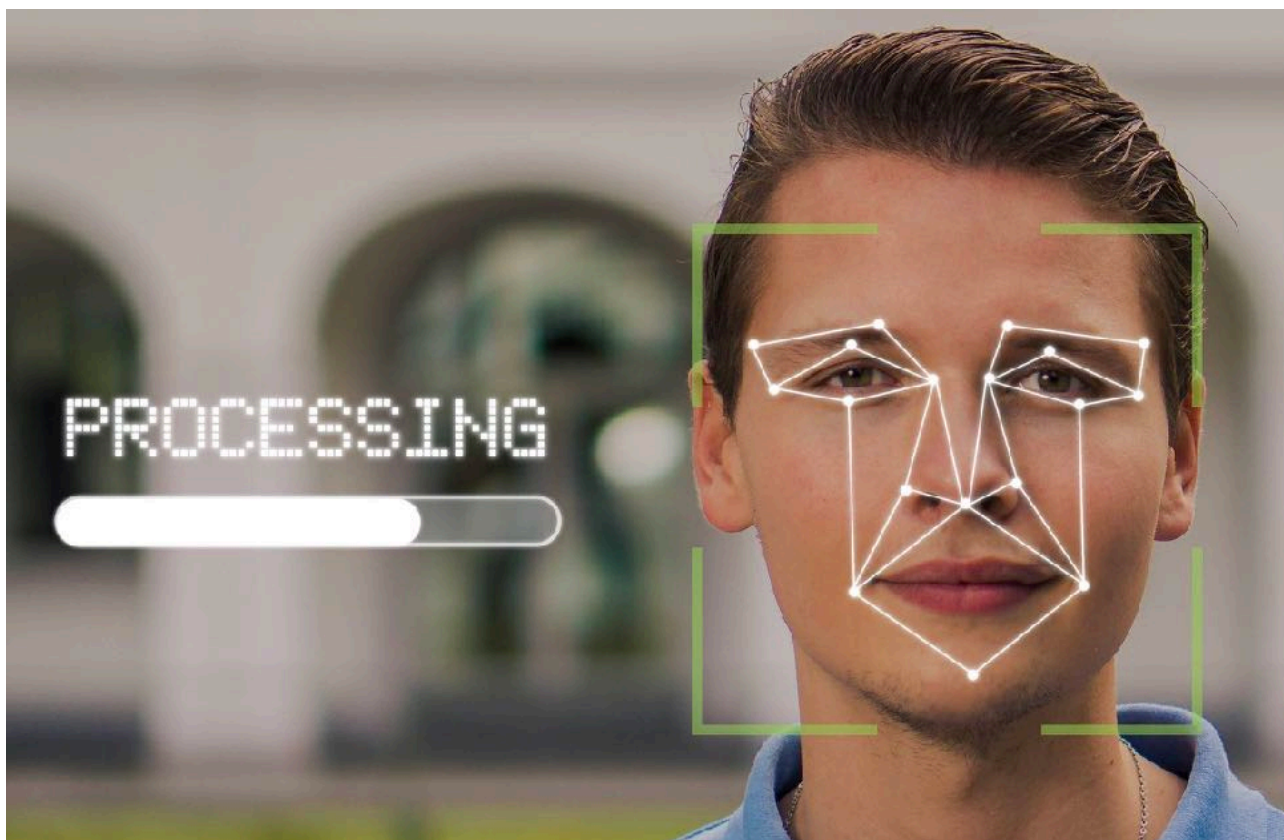
クレーンへのMOBOTIXカメラ画像の挿入

- ・通常のクレーン操作を中断することなく、荷積みおよび荷降ろし中のコンテナの識別
- ・OCRテクノロジーは港湾のロジスティクスプロセスを改善します(港湾の自動化)
- ・滞在期間中のコンテナのキャプチャー/ドキュメント化/追跡
- ・クレーンオペレーターをサポートするためのコンテナ固有の情報として生成されたメタデータ（サイズ、重量など）

モバイルMOBOTIXカメラの展開（法執行機関など）

- ・疑わしいコンテナの高速検出（少なくとも一部判明しているコンテナのクレデンシャル）
- ・コンテナOCRカメラは、車両、クレーン、または可動性のある特別な構造物に恒久的に設置されます
- ・当局および港湾/空港当局を支援する役割を果たします

5. Visage Technologies 顔認証アプリ アップデート



製品番号：Mx-APP-VIS-FR-1/2（ライセンスが必要、期間1または2年）

アプリは、カメラ内に保存および暗号化された画像データを使用して顔を認識します。このアプリは、アクセスアプリとして97%を超えるヒット確率を誇ります。入力された顔の人相と、事前にギャラリーに保存されたすべての人相との類似性が計算されます。目的は、入力された顔に最も類似している顔をギャラリーから見つけることです。

すべての生体認証テンプレートは顔の数学的表現のみであるため、生体認証情報と個人情報は厳密に分離されています。これにより、非常に機密性の高いデータを処理するときに最高レベルのプライバシーが確保されます。

データが削減され、より速く、より正確な顔認証モデルに更新(v1.3) - Visageアプリのすべての改善点:

- ・ 顔認証と処理の大幅な高速化
- ・ モデルの精度が向上し、顔の一致の誤検出や検出漏れの可能性がさらに減少します
- ・ 改善された顔認証モデルは、さまざまなサイズの顔、照明、ポーズ、あごひげ、眼鏡、マスクの様な、特に困難な条件に対してより堅牢です。

6. MxManagementCenter 2.4.3 サービスリリース*

MxManagementCenter(MxMC)は、Windows PC/MACシステム用のMOBOTIXアプリケーションであり、最大限のコスト削減と柔軟性を提供する、ユニークで直感的なユーザーエクスペリエンスに重点を置いています。標準機能は新しいリリースごとにさらに拡張されますが、包括的に装備された基本バージョンのMxMCは完全に無料です。さらに、MxManagementCenterは最高のサイバーセキュリティを表しています。

現在のサービスリリース2.4.3には、次の新機能が含まれています。

- ・ Vaxtor認定アプリのサポート
- ・ バグの修正

VaxtorのMOBOTIX認定アプリには、統合されたスマートデータインターフェイスがあります。これは、追加のソフトウェアライセンスを購入しなくても、MxMCでのスマート検索データの使用が可能であることを意味します。したがって、MxMCバージョン2.4.3を使用して、Vaxtorのアプリによってキャプチャーされ、カメラに保存されているすべてのデータ(時間、コンテナ番号など)をMxManagementCenterに直接読み取ることができます。特定のデータをフィルタリングまたは検索します。このアプリケーションは、これらのアプリを使用して複数のカメラで使用することもできます。たとえば、キャプチャーされたコンテナコードを検索すると、キャプチャーされたビデオが証拠として提供されます。

*サービスリリース2.4.3は、すでにMOBOTIX JAPANのサイトからダウンロード可能です。

お問い合わせ先：MOBOTIX JAPAN（モボティックス ジャパン）

e-mail：cam-sales@mobotix.jp

www.mobotix-japan.net

MOBOTIX AGについて：

MOBOTIX AGは、ドイツ Langmeilに本社を置く、ネットワークカメラ・システム開発製造会社です。

MOBOTIX IoTネットワークカメラは、ドイツ本社工場で製造されています。

www.mobotix.com

MOBOTIX JAPANについて：

MOBOTIX JAPANは、MOBOTIX AGの日本パートナーである株式会社K.J.フェローにより運営されています。

MOBOTIX JAPANは、MOBOTIXの日本輸入販売代理店です。

www.mobotix-japan.net

K.J.フェローについて：

株式会社K.J.フェローは、2003年10月に創業。ネットワークカメラ、セキュリティ関連の海外製品の輸入販売、コンサルティング専門のIT&セキュリティ技術商社です。MOBOTIX JAPANを運営し、その他、AI画像解析のIpsotek、NVRのWavestoreの日本パートナーとして日本市場開拓を担っています。

www.kjfellow.com